

大規模な水害に備える

近年、台風や集中豪雨等による水害が繰り返し発生しています。令和元年東日本台風(台風19号)では、広い範囲で記録的な大雨となり、関東・東北地方を中心に多くの箇所で河川の堤防が決壊する等、大きな被害を及ぼしました。

このような水害は、私達の住む地域でいつ起きてもおかしくありません。大切な命を守るため、情報をいち早く入手し、早めに避難することが大切です。



令和元年東日本台風で堤防が決壊した千曲川(千曲川河川事務所提供)

情報を手に入れよう

■ 矢作川のはん濫が、いつどこで発生するかが分かる

水害リスクライン

国土交通省HPで公開されている洪水の危険度を表示するシステムです(右記QRコード参照)。区間ごとの洪水危険度や、川の水位・状況等を確認することができます。令和2年度から矢作川の情報を見られるようになりました。



水害リスクラインHP

表示イメージ(矢作川)



■ 身近な川の水位や雨の現在の状況が分かる

いずれも市HP[総合トップ→緊急災害情報→緊急災害情報リンク]から確認できます

愛知県川の防災情報

県内の雨量表や、河川の水位情報を確認できます(右記QRコードから参照可)。



安城市河川水位観測システム

市内の雨量、河川の水位、道路冠水情報等を確認できます(右記QRコードから参照可)。



とるべき行動を知ろう

避難情報は、災害の状況に応じた警戒レベルを用いて発令します。市からは防災ラジオ・緊急速報メール(エリアメール)・市HP等で伝達します。発令された情報を確認し、適切な行動をとってください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等
警戒レベル5	命を守る行動を 既に災害が発生しています。命を守るための最善の行動をとってください	災害発生情報(市が発令)
警戒レベル4	全員避難 家族や近所の人と助け合いながら、速やかに避難を開始してください	避難勧告、避難指示(緊急)(市が発令)
警戒レベル3	高齢者等は避難 避難に時間を要する人や避難行動要支援者は避難を始めてください	避難準備・高齢者等避難開始(市が発令)
警戒レベル2	避難行動を確認 避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認してください	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)

今できる、洪水への備えをしよう

■ 洪水ハザードマップ・防災ガイドブックの活用

洪水ハザードマップは、市内で洪水が起きた場合の浸水被害の予測や、避難所の情報等を掲載した地図です。防災ガイドブックは、風水害に対して必要な備えや避難の心得等を掲載しています。

これらを活用し、日頃から自分達の住む地域の危険度や避難方法等を確認し、いざという時に備えておくことが大切です。いずれも危機管理課・土木課・各地区公民館等で配布している他、市HPにも掲載しています(右記QRコードから参照可)。※洪水ハザードマップは、令和2年度中に最新の内容に更新し、全戸配布する予定です。



洪水ハザードマップ



防災ガイドブック

■ 雨水貯留浸透施設(雨水タンク等)の設置

市では、降雨時に河川や水路等への雨水の流入軽減を目的に、「雨水貯留浸透施設(雨水タンク等)」の設置に対し補助を行っています。詳細は市HP(下記QRコードから参照可)を確認するか、土木課へお問い合わせください。



雨水貯留浸透施設設置補助事業

貯めた水を庭の水やりや洗車に利用できるので水道代の節約になっています。

雨水タンクを設置した方の声



金田さん宅(福益町)

他にもこのような好評の声をいただいています

庭の水やりや洗車に利用できるので水道代の節約になっています。

暑い日の打ち水としても使うことができます。

水害対策に貢献できていいと思います。